

七ヶ浜町の現況

1. 自然・歴史等

(1) 位置と地勢

本町は、宮城県の中心部仙台市の東側に位置し、周囲27.8kmで、南は太平洋、西は塩竈市、多賀城市、仙台市と接し、三方が海に面した方形に近い半島状の町である。

面積は、13.27km²で県内最小の町(北海道・東北においても最小)であるが、東に遠く金華山の霊峰を望み、北東には日本三景「松島」の景勝を誇る四大観の一つに数えられる多聞山がある。

(2) 気 候

大部分の地域が海に望み海洋性気候のため、仙台市と比較し夏は2～3度涼しく、冬は暖かい。また、降水(雪)量が少なく、大変住みやすい気候となっている。



北緯38度16分45秒
東経141度2分20秒

姉妹都市：プリマス市
(アメリカ・
マサチューセッツ州)

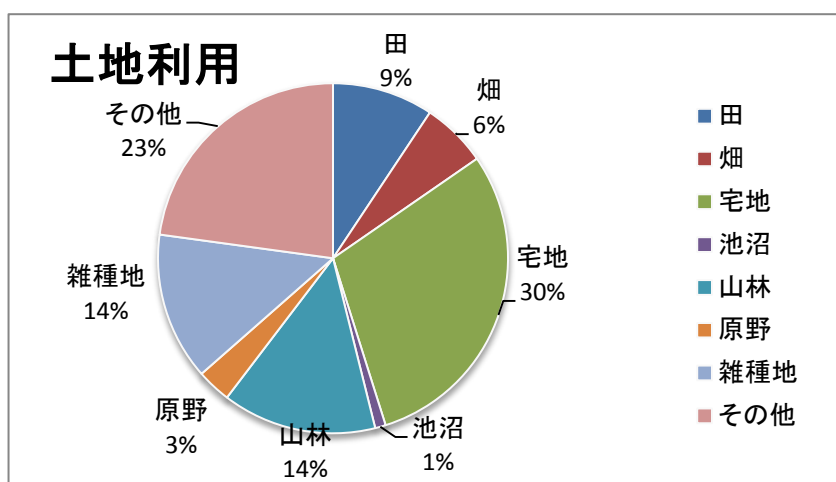
(3) 土地利用

平成24年の地目別割合をみると、30%が宅地利用されている。また、その他が23%となっており、主に学校用地や道路として利用されている。

地目別面積の推移

年	総面積	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地	その他
平成6年	1,327	132	95	370	14	207	38	170	302
7	1,327	131	95	377	13	201	38	169	303
8	1,327	131	94	378	13	201	37	169	304
9	1,327	131	94	380	13	200	37	170	302
10	1,327	131	91	382	13	200	36	169	305
11	1,327	128	82	390	13	202	48	162	302
12	1,327	127	79	388	13	198	43	177	302
13	1,327	126	80	388	13	198	43	176	303
14	1,327	125	80	389	13	198	43	176	303
15	1,327	125	81	391	13	193	42	178	304
16	1,327	125	81	391	13	193	42	178	304
17	1,327	125	81	392	13	192	42	179	303
18	1,327	125	80	391	13	191	42	182	303
19	1,327	125	80	392	12	191	42	182	303
20	1,327	125	80	392	12	191	42	181	303
21	1,327	125	80	394	13	189	42	181	303
22	1,327	124	80	395	13	189	42	181	303
23	1,327	124	80	392	13	187	42	181	308
24	1,327	124	80	395	13	189	42	181	303

税務課「概要調査」第2表 各年1月1日



※平成24年分数値をグラフ化

(4)文化財・史跡

町内には、縄文早期からの貝塚・遺跡が40数ヶ所もある。なかでも大木囲貝塚は、19万㎡(東京ドーム約4個分)と日本一の広さを誇り、昭和43年には国の重要文化財にも指定されている。

後醍醐天皇の代に名神社の一つに数えられたという鼻節神社は、多賀城を国府としていた頃に使われていた国府厨印が発見されたところである。また平安時代に創建された薬師堂内にある磨崖仏座像(薬師座像)は、慈覚大師が海上安全を祈願するために一夜にして彫ったと伝えられている。

■町の主要な文化財

種別	名称	指定	指定年月日
史跡	大木囲貝塚	国	昭和42年3月18日
	湊浜薬師堂・磨崖仏	町	昭和56年10月1日
	鼻節神社	町	平成2年3月31日
	二月田貝塚	町	
天然記念物	下がり松	町	平成2年3月31日
美術工芸	「国府厨印」	町	昭和46年
古文書	建治三年銘古碑	町	昭和2年3月31日

■指定史跡・天然記念物位置図

